

氏名	増田 政徳	所属	北九州 ESD 協議会
RCE（持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点）ならではの活動概要			
<p>■北九州 ESD 協議会は、74 団体 45 名の個人会員が加盟しており、①地域ネットプロジェクト、②調査・研究プロジェクト、③広報プロジェクト、④ユースプロジェクトに別れて活動を行っている。</p> <p>■国際的には 2007 年から RCE 統営との交流を行い、2014 年には協定を結びインターンシップも開始している。現在は、RCE インジェとも交流を深めている（10 月 21 日～10 月 24 日 ユースプロジェクトが訪問）。</p>			

氏名	浜本 奈鼓	所属	NPO 法人くすの木自然館
NPO ならではの活動概要			
<p>1980年代から活動していた自然保護活動NGOをベースとし、地域に根差した環境教育、野生生物保護、環境保全活動を行う事業所として95年に設立。鹿児島島の自然や文化をより良い形で構成に引き継ぐためには、何を、どこに、誰を通して、どのように伝えていけばいいかを、事業課題として常に取り組んできた。</p> <p>活動を進める中で、第一次産業とのつながりや、環境に配慮した地域の在り方や持続の仕方、それを進めるための人材育成などの、それまでは行政の仕事だと思われていた分野で、地域で活動しているNPOならではの見地から問題解決の実績を積み重ねてきている。行政と地域、専門分野、企業などのコーディネート的な役割を果たしている。</p>			

氏名	吉津 克俊	所属	（公財）肥後の水とみどりの愛護基金
企業ならではの活動概要（環境保全等に関する顕彰・助成支援や社員に対する環境教育など）			
<p>(1) 助成活動 熊本の「水とみどり」の保全に取り組んでいる団体等を、「肥後の水とみどりの愛護賞」として昭和62年より毎年顕彰（30年間で延べ326先）。活動助成金も交付。</p> <p>(2) 啓発活動 毎年の「肥後の水とみどりの愛護賞」表彰式に引き続き、環境保全のシンポジウムを開催。（平成28年のテーマは「熊本地震の特徴と地下水への影響」） 水資源保全の啓発映像として「水はみんなの命」（本編、くまモン版、英語版）を制作し、県内の学校教育や市民講座、及び肥後銀行行員に対する環境教育等に活用。</p> <p>(3) 主体的実践活動 阿蘇北外輪地域において、①「阿蘇大観の森」（52ha）での植樹・下草刈り、②「阿蘇水掛の棚田」（3.5ha）での農業・水田湛水事業を実施。</p> <p>(4) 文化事業 平成27年開設の「肥後の里山ギャラリー」で歴史・文化の企画展覧会、古文書・環境保全のギャラリー講座、デジタル・ミュージアムでの情報発信を行っている。</p>			

九州地方のESD実践活動について（委員提出資料）

氏名	荒木 秀敏	所属	大牟田市教育委員会
教育分野ならではの活動概要			
<p>大牟田市の全ての公立小・中・特別支援学校（平成28年度30校）は、平成23年度末に一斉にユネスコスクールに加盟し、エネルギー環境、国際理解、世界遺産・郷土、福祉等、各学校の特色を生かしたESDを推進している。</p> <p>また、平成26年度から文部科学省の「グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」の採択団体として、福岡教育大学や福岡県教育委員会、その他参画団体・企業等とコンソーシアムを結成し、ESDの充実を図っている。</p> <p>教育委員会として、各学校のESDの推進への指導・助言等の支援を行うとともに、教職員を中心とした研修会や、児童生徒による成果発表会（ユネスコスクール子どもサミット）を開催している。</p> <p>本年度、市長を本部長、教育長を副本部長とする「ESD推進本部」が設置され、各部署が連携を図りながら、市を挙げてESDを推進していく体制が整った。</p> <p>また、市制100周年記念事業の一環として「ユネスコスクールの日」を制定し、1月14日には「ユネスコスクールの日」制定記念式典を開催することになっている。</p>			

氏名	石丸 哲史	所属	福岡教育大学
ASPUniv. Net.（ユネスコスクール支援大学間ネットワーク）ならではの活動概要			
<p>ASPUniv. Net. に福岡教育大学が加盟したことにより、福岡教育大学ではESD推進が本学事業として位置づけられました。石丸は、ESD推進・ユネスコスクール支援チーム代表として九州地方を対象としたESDの普及・啓発に向けた各種の取組みを企画・実施しています。この取組は、学校教育をよりESDに近づけていくというビジョンをもちながら、各教科・領域におけるESDの深化・拡充のお手伝いをさせていただいております。また、教員免許状講習にESDの受講科目を設定し、現職の教員の皆様へ対する普及・啓発を行うことによって、高等教育におけるESD展開も試みています。</p>			

氏名	杉浦 嘉雄	所属	日本文理大学
主に九州管内の環境教育関係者・組織が参加するKEEM（九州環境教育ミーティング）ならではの活動概要			
<p>◇KEEMの活動：1997年から始まり、毎年継続して、今年で21年目を迎えております。</p> <p>◇KEEM大会の準備：毎年、大会（1泊2日）は3月に開催されますが、九州各地から集まった実行委員、大会開催地の地元住民やグループが準備をします。具体的には、前年6月・9月・12月・大会前日の計4回の実行委員会に原則ボランティアで集まり、大会の準備をしてきました。</p> <p>◇KEEM最大の特徴：それは、上記の実行委員が、大会参加者とともに、大会開催地の“持続可能な地域づくり”やそれを支える“人づくり”（ESD）の出発点を、大会を契機にして、地元住民との連携・協働作業によって創りあげていくことにあります。</p> <p>実行委員・参加者・地元住民による連携・協働作業は、具体的には大会全プログラムの中でも、主に複数のテーマが設けられた「分科会」で実施されます。</p> <p>◇KEEM 20年の活動成果として、九州各地のESDを実践したり関心を持ったりしている“人材ネットワーク”が自ずと構築されてきたと思っております。</p>			

九州地方のESD実践活動について（委員提出資料）

氏名	栗林 雅彦	所属	鹿島市
基礎自治体ならではの地域に根ざした活動概要（森里川海取組など）			
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年5月に「肥前鹿島干潟」がラムサール条約登録湿地となり、それをうけて今年6月にこどもラムサール観察隊を発足した。（現在隊員20名）月に1～2回のペースで環境教育を展開している。（活動内容）干潟体験・九重町との交流・源流体験・荒尾干潟での活動・野鳥観察など ● 11/12（土）1周年記念事業で上半期の成果を発表する。 ● また、今年度は、環境省と地域循環共生圏構築事業に取り組む中で、学校向けの環境教育を推進する予定。今年度は、環境の副読本の試作品を作成し、それを元に教員向けの授業のデモを行い、来年度から一緒に取り組んでくれる学校を募集する。 来年度は一年間授業を行い、副読本を完成させ、全校（7校）に配布する。 			

氏名	榊田 一郎	所属	熊本市
基礎自治体ならではの地域に根ざした活動概要			
<p>当市は、良好な環境を確保するための基本的かつ総合計画として第3次熊本市環境総合計画を策定し、その中に重点協働プロジェクトとして「ひとづくり（環境教育）」及び「まちづくり（市民協働）」を掲げている。</p> <p>平成28年3月、環境総合計画の中間見直しの中で、環境教育等促進法に規定する「環境教育等の行動計画」として位置づけ、ESDの観点を盛り込む改訂を実施した。</p> <p>しかし、震災の影響もありESDの周知、案内は進めているが包括的な取り組みはできていない。</p>			